



「とねまち」  
利根町観光協会  
イメージキャラクター

# とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

2月臨時会  
3月定例会

No. 162

2023.5.2

令和5年3月24日撮影（利根親水公園）





# 令和5年第1回 議会定例会 議案概要

## 議案第2号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例……………【原案可決】

人事院勧告に基づき、職員等の期末手当及び勤勉手当の支給率を改め、また、行政職給料表、医療職給料表1、医療職給料表3及び特定任期付職員給料表を改めるものです。

## 議案第3号 利根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

国家公務員法の改正により、育児休業の取得回数制限の緩和及び育児参加のための休暇の対象期間の拡大に伴い、本町も同様の対応を図るため、条例を改めるものです。

## 議案第4号 利根町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例……………【原案可決】

情報通信技術を活用した行政の推進を図るため、個人番号カードを利用する方法による手続き等に必要な事項等を改めるものです。

## 議案第5号 利根町地域公共交通活性化協議会条例……………【原案可決】

地域公共交通計画の作成及び実施に関し、需要に応じたバス等の旅客運送の確保や輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、協議会を設置するものです。

## 議案第6号 利根町総合振興計画条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

総合振興計画と総合戦略は、まちづくりの方向性が一致していることから、総合振興計画後期基本計画を一体的な計画として策定し、また、利根町振興計画審議会条例が一体となった条例とするものです。

## 議案第7号 利根町男女共同参画推進条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

利根町男女共同参画推進委員会の構成委員見直しに伴い、公募する町民の人数を明確にするため、条例を改めるものです。

## 議案第8号 利根町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

国が定める特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、町の基準を改めるものです。

## 議案第9号 利根町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

国が定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、町の基準を改めるものです。

## 議案第10号 利根町通学区域審議会条例を廃止する条例……………【原案可決】

令和5年度に小学校が3校から1校に統合することにより、通学区域を設定する必要がなくなったため、条例を廃止するものです。

## 議案第11号 利根町学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例……………【原案可決】

小学校統合に伴い、文小学校と文間小学校跡地を利用した町民の自主的な活動や交流、生涯学習の推進を図るため、運動場及び体育館の設置及び管理について、条例を制定するものです。

## 議案第12号 利根町生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ……【原案可決】

エレベーター設置により部屋の床面積が縮小するため、使用料金を改めるものです。

## 議案第13号 利根町教育支援委員会条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

小学校統合に伴い、学校教育関係者が減員となるため、委員の人数を改め、また、幅広く福祉関係者の意見を聴取できるよう、条例を改めるものです。

- 議案第14号 令和4年度利根町一般会計補正予算（第8号）**……………【原案可決】  
予算額に歳入歳出それぞれ7,887万4千円を追加し、総額69億9,790万4千円とするものです。
- 議案第15号 令和4年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）**……………【原案可決】  
事業勘定予算額から歳入歳出それぞれ1億7,819万7千円を減額し、総額19億7,513万円3千円とするものです。診療所の施設勘定予算額に歳入歳出それぞれ350万円を追加し、総額1億6,543万7千円とするものです。
- 議案第16号 令和4年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】  
予算額から歳入歳出それぞれ1,246万8千円を減額し、総額2億8,730万2千円とするものです。
- 議案第17号 令和4年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】  
予算総額に増減はなく、財源内訳を変更するものです。
- 議案第18号 令和4年度利根町介護保険特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】  
予算額に歳入歳出それぞれ2,221万円を追加し、総額17億2,101万1千円とするものです。
- 議案第19号 令和4年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】  
予算額から歳入歳出それぞれ302万円を減額し、総額5億9,636万7千円とするものです。
- 議案第20号 町道路線の認定及び廃止について**……………【原案可決】  
道路法第8条第2項及び第10条第3項の規定により、利根町道路線を認定及び廃止するものです。
- 議案第21号 利根町民すこやか交流センターの指定管理者の指定について**……………【原案可決】  
利根町民すこやか交流センター条例第11条の規定により、指定管理者による管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の同意を得るものです。
- 議案第22号 布川地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について**……………【原案可決】  
利根町生涯学習施設の設置及び管理に関する条例第13条の規定により、指定管理者による管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の同意を得るものです。
- 議案第23号～第29号 令和5年度利根町一般会計予算・特別会計予算**……………【全件可決】  
詳細については予算審査特別委員会のページをご覧ください。
- 議案第30号 令和4年度利根町一般会計補正予算（第9号）**……………【原案可決】  
予算額に歳入歳出それぞれ3,991万1千円を追加し、総額70億3,781万5千円とするものです。
- 委員会提出議案第1号 利根町議会の個人情報保護に関する条例**……………【原案可決】  
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会における個人情報の適正な取り扱いに関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。
- 委員会提出議案第2号 利根町議会会議規則**……………【原案可決】  
地方自治法第120条により、議会会議規則は議会の議決により定めるものことから、本町議会の会議規則についても、議会の同意を得るものです。

# 令和5年第1回議会定例会

## 3月定例会

# 令和5年度 予算を可決



◆全会計◆  
112億9,792万7千円

◆一般会計予算◆  
64億9,525万2千円

### 一般会計歳入

項目	金額(千円)
町税	1,203,207
地方譲与税	91,015
利子割交付金	700
配当割交付金	10,000
株式等譲渡所得割交付金	6,500
法人事業税交付金	13,000
地方消費税交付金	337,000
自動車税環境性能割交付金	10,000
地方特例交付金	13,000
地方交付税	2,121,760
交通安全対策特別交付金	1,513
分担金及び負担金	8,084
使用料及び手数料	35,508
国庫支出金	503,820
県支出金	458,981
財産収入	17,767
寄附金	18,001
繰入金	897,603
繰越金	100,000
諸収入	84,293
町債	563,500
合計	6,495,252

### 全会計

会計名	予算額(千円)	
一般会計	6,495,252	
特別会計	国民健康保険(事業)	2,003,824
	国民健康保険(施設)	133,741
	公共下水道事業	300,757
	町営霊園事業	6,165
	介護保険	1,708,344
	介護サービス事業	16,175
	後期高齢者医療	633,669
合計	11,297,927	

### 一般会計歳出(目的別費用)

項目	金額(千円)	構成比(%)
議会費	98,080	1.5
総務費	1,299,623	20.0
民生費	2,066,044	31.8
衛生費	511,310	7.9
農林水産業費	229,219	3.5
商工費	77,221	1.2
土木費	597,084	9.2
消防費	405,225	6.3
教育費	781,815	12.0
公債費	391,148	6.0
諸支出金	33,483	0.5
予備費	5,000	0.1
合計	6,495,252	100.0

# 予算審査特別委員会

〈報告〉 予算審査特別委員会 船川 京子 委員長

本委員会は、令和5年3月2日の本会議において設置され、「議案第23号 令和5年度利根町一般会計予算」から「議案第29号 令和5年度利根町後期高齢者医療特別会計予算」までの7議案について付託されたものです。

予算審査特別委員会は、3月10日及び3月14日、15日、16日の4日間、全委員出席のもと開催し、町長・教育長をはじめ各課長及び担当職員の出席を求め慎重なる審査を行いました。

予算額については、別表のとおりです。

「議案第23号 令和5年度利根町一般会計予算」は表決の結果、賛成8、反対1で可決。

議案第24号から議案第29号については全会一致で可決しております。

最小の予算で、最大の効果をあげるとともに、今後も行政改革を進め歳出抑制に努めていただきたいと思います。以上、今定例会で付託された議案は全て原案どおり可決されました。



## 討論

第1回定例会に上程された議案に対し、下記の討論がありました。  
(登壇順に記載しています)

### 〈議案第5号 利根町地域公共交通活性化協議会条例〉

#### 反対討論

井原 正 光 議員

高齢化が進む中で、公共交通の重要性は、誰でも認識しています。しかし、最終的な決定を過半数で決することに納得できません。町の将来にとって大事なことから、委員全員で決することがいいと思いますので反対します。

### 〈議案第6号 利根町総合振興計画条例の一部を改正する条例〉

#### 反対討論

井原 正 光 議員

町の将来にとって大事な計画を、過半数で決めることに反対します。委員16名のうち町民は4名。20代～40代の人の意見を聞くことも大事なことです。公募するからいいというものではない。これからの将来の夢は若い人が意見を述べあって計画を作ることに意義があります。人口が減少する中で参加した委員全員が賛成して決するべきです。

### 〈議案第23号 令和5年度利根町一般会計予算〉

#### 賛成討論

大 越 勇 一 議員

令和5年度の予算規模は64億9,525万2,000円で前年度比2億8,185万5,000円の増で、率にして4.5%の増です。町民生活重視の政策を優先した予算編成になっております。注目する事業としては、利根西部地区基盤整備事業や利根川沿いの町道109号線及び立木地内の産業道路の道路舗装工事を行うなど、住民サービスの向上に繋がる事業が当初予算に盛り込まれております。効率的な行政経営を着実に進めることを願い議案第23号に賛成いたします。

#### 賛成討論

五十嵐 辰 雄 議員

私は賛成の立場で討論をいたします。町税は、年々減収の傾向で依存財源である地方交付税が大

宗を占めています。現下の厳しい財政状況を踏まえ、選択と集中により効果の上がる事業を厳選しています。当町の最大の課題は人口減少です。人口増加を図るため横断的に施策を組合せ、実効性の上がる事業に予算配分しています。デジタル田園都市国家構想に明記してある課題を導入し、活路を開く事業を進めています。

## 《 議案第25号 令和5年度利根町公共下水道事業特別会計予算 》

### 反対討論

井原正光 議員

フレッシュタウン北側の水路改修工事2,500万円が計上されています。財源は、都市計画税を充てていますから財源が乏しく完成まで何十年もかかります。この排水路は、団地からの雨水と農地からの排水が合流して大きな水路となっています。面積に応じ、県事業と負担配分し施行すれば完成も早く、最小の予算で最大の効果が上がる事業となることから現予算に反対します。

### 委員会提出議案第1号

#### 「利根町議会の個人情報の保護に関する条例」賛成全員で可決

「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体等の執行機関に適用される全国的な共通ルールが定められるなど、個人情報保護制度の大きな見直しが行われました。この改正個人情報の共通ルールについては、地方議会を対象外としていることから、町議会においても個人情報の適正な取り扱いに関し、必要な事項を定めた条例を制定するものです。(令和5年4月1日施行)

令和5年3月2日

提出者 議会運営委員会委員長 花嶋 美清雄

### 委員会提出議案第2号 「利根町議会会議規則」賛成全員で可決

地方自治法第120条により、議会会議規則は議会の議決により定めるものであるため、本町議会の会議規則についても議会で議決する必要があることから提案するものです。

(令和5年3月2日施行)

令和5年3月2日

提出者 議会運営委員会委員長 花嶋 美清雄

## 町長の施政方針に対する代表質問

### 問

利根町議会 会派 令和デモクラシー 五十嵐 辰雄 議員

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化及び少子高齢化や人口減少の急速な進展に立ち向かい、下降するトレンドを反転させなければなりません。令和5年度の町政に対する基本方針並びに予算に対し、何点か質問をいたします。

1. 第2期利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略によると、人口について、将来人口推計で2050年には6,747人と推計しています。人口は国力の源泉で、人口減少により社会全体の機能は疲弊します。人口減少が地域社会に及ぼす影響について、御所見をお尋ねします。
2. 農業は利根町の基幹産業です。農業従事者の減少や圃場整備の遅れから、後継者不足が起きています。基盤整備事業について、目標とする担い手の集積状況、事業の年次計画についてお尋ねします。
3. 4月から利根小学校が開校します。学校跡地利活用事業には、旧東文間小学校についての予算計上がされていませんが、利活用の範疇<sup>はんちゆう</sup>にはないのでしょうか。また、用途変更設計業務委託の内容もお尋ねします。

4. 都市計画法に基づく用途地域区分は、昭和45年11月25日に定めてから、既に半世紀を超え、社会情勢は様変わりしています。古い用途区分では新しい事業活動は非常に制約されます。町長の御所見をお尋ねします。
5. 少子高齢化については、昨年の出生数が80万人を下回り、この問題は自治体だけでは解決できない問題です。町では、少子化対策に力を入れて取り組んでいますが、子どもの子育て環境整備について、お尋ねいたします。

## 答

1. 人口減少により小売や飲食店など生活関連サービス業の撤退、地域公共交通の撤退や縮小、空き家や空き店舗、耕作放棄地の増加など様々な影響があると考えます。町民のニーズを取り入れながら少子高齢化対策を最重要課題と位置づけ、これまでにない新しい施策に取り組んでいきます。
2. 担い手への集積率について、中心経営体農地集積促進事業を活用し、工事費の受益者負担が実質ゼロ%となるよう集積率75%を目標とします。年次計画は、今後、西部地区は横須賀から西へ下井、下曾根、上曾根、押付新田、そこから東へ布川、中田切と工事を進め、令和11年度の完了を目指します。南部地区は令和5年度、羽中地区から工事を実施し、布川地区に向かって工事を進め、令和10年度の完了を目指します。
3. 旧東文間小学校跡地の利活用については、引き続き現状での貸出または売却について進めてまいります。用途変更設計業務委託は、文小学校と文間小学校の跡地利活用方針に基づき、施設の用途変更に伴う改修工事を実施するための設計業務で、文小学校は、健康増進施設、子育て世帯の支援などの複合施設として、文間小学校は、総合教育センターを中心とした教育、学習支援施設として令和7年度の開設を予定しております。
4. 学校跡地を含めた市街化調整区域内の土地利用につきましては、今後、都市計画法の市街化調整区域の立地基準に適合する利活用を、開発行為等の許可機関である県と適宜協議しながら進めてまいります。
5. 4月にこども家庭庁が創設され、子ども政策の強化が図られることから、町においても国の動向を注視しながら事業を検討してまいります。第3期子ども・子育て支援計画の策定に伴う子育て家庭の状況と、子ども・子育て支援に関するニーズを把握するためのアンケート調査の実施など、保護者が必要としている支援等を把握し、引き続きより良い子育て環境を整備していくことで少子化対策につなげていきます。

## 全国町村議会議長会 議員表彰

2月8日に開催された全国町村議会議長会第74回定期総会において、当町の若泉昌寿議員が表彰されました。

27年在職議員  
若泉 昌寿 議員



## 茨城県町村議会議長会 議員表彰

2月21日に開催された令和4年度町村自治功労者表彰式において、当町の井原正光議員が表彰されました。

20年在職議員  
井原 正光 議員



# 町政のここが聞きたい

# 一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

**問** 小・中学生の給食費の無料化について

**答** 令和6年度以降は社会情勢を鑑み判断する **山崎 誠一郎 議員**

**問** 教育費の無料化や給食費の無料化は本来国の施策で行われる問題と私は認識するが、当町においては本年3月末まではコロナの交付金活用で約二年間無料化となっている。令和5年度の給食費は2割削減という事であるが、少子化からの脱皮、出生率の低下及び人口流失を少しでも防ぐために令和6年度以降の給食費の無料化について町の考えを伺います。

**答** 令和6年度以降については、社会情勢を鑑み判断していく。

**問** 令和2年9月に続き大平地区の高台に、国・県の予算で利根町の安心安全の拠点としての避難所施設を備えた防災公園を誘致してはと考えるが町の考えを伺います。

**答** まだ構想段階であるが、避難所や避難場所のみの施設では活用範囲が限

定されるので、平時は色々な方々に利用していただけるもの、災害時には防災の拠点として利用できる防災公園のような施設がいいのではと考える。

**問** 防犯カメラについて通算で4回目の質問をする。最初の質問から四年で3台増設に繋がりましたが、昨今の凶悪な犯罪に対応するため、更なる増設、新しい機種への交換及び町内自治会への設置に伴う補助金導入について町の考えを伺います。

**答** 昨今の悪質な事件や事故への犯罪抑止の観点から更なる増設について今後警察と協議しながら、県の補助金の活用も含めて検討していく。自治会等への補助制度の導入については、地区の意向を踏まえて、また、近隣市町村の例を参考に検討していく。

**問** デジタル田園都市国家構想の推進策は

**答** デジタル技術を活用し地方創生を図る **五十嵐 辰雄 議員**

**問** 政府は、デジタル化に取り組む自治体を90%まで増やす、田園都市国家構想の5か年総合戦略を決定しました。地方のデジタル実装を加速し、全国どこでも利便で快適に暮らせる社会の実現を目指します。総合戦略では、東京圏から地方への移住者を年間1万人を目標にし、デジタル化を重点的に推進し子育て、雇用環境を改善し東京一極集中を是正する考えです。都心まで40キロ圏内にある当町は、田園都市国家構想で定めてある事業を積極的に導入し、人口増加を図る対策をお尋ねします。

**答** デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題の解決や、魅力向上の取り組み進化、加速化する観点から政策の整理を図った。従来の地方創生推進交付金と地方創生拠点整備交付金、デジタル田園都市国家構想推進交付金、この三つの交付金をデジタル田園都市国家構想交付金と位置づけ、構想実現に向けて分野横断

的に支援する交付金です。事業対象別に、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた取り組みを支援する「デジタル実装タイプ」、及び地方再生計画に記載された先導的な取組や施設整備等を安定的かつ継続的に支援する「地方創生推進タイプ」、「地方創生拠点整備タイプ」、この三つが設けられています。それぞれの特性を生かしながら、デジタル田園都市国家構想の推進を支援する制度です。町としては、国や県の情報をつぶさに取り入れ最大限活用する所存です。



**問** 農業の活性化について

**答** 関係機関と連携して支援していく

**大越 勇一 議員**

**問** 利根町の基幹産業は農業で米作りです。基盤整備も順調に進んでおり、圃場の整備と集積化が図られていると認識しております。しかしながら農家の数は年々減少し、担い手も不足している状況にあり、今後の農業の衰退に危惧しております。そこで農業の活性化について次のことを伺います。労働力確保に向けた施策や担い手の育成、確保について町の取組を伺います。

**答** 労働力の確保についてですが、水稲単作の場合、農繁期において一時的な労働力の必要があるのが現状と思われます。シルバー人材センターに確認したところ、毎年20件程度の農家から種まきや苗運び等の依頼を受けていると聞いております。また、最近では、農業用マッチングアプリも増えてきており、今後、さらに需要が高まると考えております。町といたしま

しても、先進的取組をしている事例等を参考にし、労働力の確保対策をJAとも協力しながら検討していきたいと考えております。また、経営規模の拡大や、新作物を導入し、雇用者の通年作業の確保を図るような取組を行い、法人等を目指す農家も支援してまいります。

農業の担い手の確保や育成に関しましては、農業経営基盤強化促進法が改正され、地域の話合いにより、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定めることとなりました。この地域計画では、認定農家者のほか、農業を副業的に営む経営体や委託を受けて農作業を行うものなどが農業を担うものと位置づけられ、農地の集積、集約化が強化されます。また、新規就農や定年機能など、新たに農業経営を始めようとする方には、就農相談から経営定着の段階まできめ細やかに、関係機関と連携をして支援してまいります。

**問** コミュニティ・スクール設置の展望は

**答** 令和6年4月までに設置する計画である

**石山 肖子 議員**

**問** 「住民自治によるまちづくり」に寄与する、「地域とともにある学校づくり」に有効なツール「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」設置準備期間の展望は。

**答** 利根小学校と利根中学校を統括する一つの学校運営協議会を設置していく考えである。子どもたちがどのような力をつけ、どのような成長をしていくべきかを、学校、保護者、地域の方々と議論する場を設けていきたい。地域の活性化とも密接に結びつくものと考えている。

令和6年の4月までには町内の小中学校をコミュニティスクールとし、議論を始められるよう計画している。この4月からコミュニティスクールの立ち上げを専任とするコミュニティスクール指導者を任用し、広報活動、推進委員会の開催、推進委員の選任、地域人材や関係団体への協力依頼などを進めていく。

**問** 「コミュニティ・スクールのつくり方「学校運営協議会」設置の手引き」に記載の「熟議」について準備期間中からどのように展開するか。

**答** 手引きの中では、熟議について五つのポイントが示されている。保護者、教員、地域住民等、多くの当事者が集まること、課題について学習、熟慮し、議論すること、互いの立場や果たすべき役割への理解を深めること、それぞれの役割に応じた解決策を洗練させること、それぞれの当事者が納得して自分の役割を果たすようになること、これらを満たしたプロセスが熟議であり、準備期間においてもこのプロセスは重要であると捉えている。



持続可能な開発目標 (SDGs) 4、11、17

# 一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

**問** 新小学校は危険な場所にある

**答** 皆さん安全と認めてきた

**井 原 正 光 議 員**

**問** 子供が安心して学べる場所、保護者が安心して送り出すことができる場所は布川台しかない。

**答** 川が切れたら全部沈みます。ニュータウン、布川の皆さん、井原議員も一番安全だと認めてきた。

**問** 大勢の人が治安に不安を感じている。強盗事件に、町民の生命財産を守る町長が注意喚起する必要性を感じるが。

**答** 県南地域に偽電話詐欺多発警報が発令され注意喚起を図った。全くやっていない訳ではなく井原議員が知らないだけで、起きる前に色々行動しています。

**問** スクールバスの運行について

**答** 運転手と学校の連絡体制を整備

**花 嶋 美 清 雄 議 員**

**問** バス通学の登下校の日程について何う。

**答** バス 13 台を使用し、登校時の最も早いルートは 7 時 40 分、最も遅いルートは 7 時 55 分に最初のバス停を出発。乗車時間は最長で 24 分程度。下校時は、月曜日及び金曜日は一斉下校で、火曜日から木曜日は、低学年と高学年で時間別としている。時刻表を含めた登下校の日程は学校を通じて保護者へお知らせする予定。

**問** バス車内のアクシデント、いわゆる、いじめ、車酔い、取り残し等の対応について何う。

**答** スクールバス運行マニュアルの作成を進めており、その中で、車内でのアクシデント等緊急時には運転手がすぐに学校と連絡が取れるような体制を整備し、児童の生命、身体等の安全に関わる事態や

**問** 子育て世帯、新しい生活を始める方にも希望をもって町で生活できるように子育て計画を示すべきです。

**答** 家庭等の生活の安定の寄与、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、国の児童手当の動向を注視しています。

**問** 中学生になると経費がかさむのに 15,000 円から 10,000 円に下がる。町が独自に支援すべきだ。

**答** 児童手当制度は、国の制度です。なぜ 1 万円になるのかは分かりかねます。児童手当は議論が進んでおり、改正される可能性もあるので、国の動向を見たい。

バスの安全な運行が脅かされる事態が発生した場合には必要に応じた連絡や対応を取ること、児童の置き去り等が発生しないよう運転手が全席確認の上で降車するよう規定するとともに、補助金を活用し、置き去り防止安全装置の設置を検討している。

**問** 車内でいじめがあった場合、どのように子供たちから連絡を受けるか、また、当該児童の座席変更や別のバスに乗車させるというところまで考慮する考えはあるか。

**答** いじめについては、1 か月に 1 回アンケート調査を実施し把握に努めている。始業式から 5 日、職員がすべてのバスに乗車し乗り方等を指導する予定。いじめ等が懸念される場合は運転手にも確認する。基本的には最初に決めた予定表のとおり運行していく。

**問** 町道103号線延伸事業の進捗状況は

**答** 用地買収の進捗率は92%

**問** 町道103号線は、茨城県の過疎代行事業として、早尾の天神様から県道千葉竜ヶ崎線のランドロームまでの490m、事業用地では、道路改良工事、排水工事が進められています。事業地内の買収は相続や行方不明の者がいることから、残り13%の用地買収ができないとのことでしたがその後の状況を伺います。

**答** 残りの用地買収については、引き続き交渉を進めています。用地買収の進捗率は92%です。

**問** 92%ということは、残り8%については行方不明、相続ができない。いろいろな工事に支障がでませんか。

**答** 用地買収ができない土地は、相続関係の問題がある。工事に関しては、できるところから進めていく。

**問** 公共交通の運行について

**答** 地域公共交通計画を策定

**問** 町公共交通乗り入れ先に、眼科・耳鼻科医院の追加や、狭隘道路等公共交通空白地帯の解消を目指し、コミュニティバス等の導入が求められている。町は「多くの皆さんに利用される交通体系の維持に努めたい」との姿勢を示しているが、公共交通運行に対する進捗状況を問う。

**答** 高齢化や移住定住等の政策を推進するには、将来を見据えた公共交通サービスを構築する必要がある。現在情報収集に努めている。

**問** 利根町奨学金返還支援補助金や結婚新生活支援事業など、若者に光を当てる事業が、公共交通の課題のために、活かしきれない状況が見える。栄橋の渋滞、大利根交通バスの早朝や深夜の減便、布佐駅のタクシーも少なくなっている。高齢者にも若者にも光を当てる事業が、活かしきれない公共交通体系にしなければ、町の損失

## 石井 公一郎 議員

**問** 道路設計は勾配が8%で計画されている。町長は勾配が非常に急なので、無人バスみたいなものを走らせたい、県と相談しながらいい方向に持っていけるよう努力していくとの答弁があり、その後、県との検討状況について伺います。

**答** 無人バスの運行については、具体的な進展がない。

**問** 鎌倉街道は、町指定の史跡で、来訪者の駐車場、トイレは必要ではないか。

**答** 町の貴重な歴史的遺産の鎌倉街道への来訪者に対し街道を快適に安心して散策できるよう、自然環境に恵まれた周辺景観に配慮し、環境整備として、まずは簡易トイレ設置の予算を令和5年度に計上、駐車場は、近隣住民と十分協議、検討する。

## 船川 京子 議員

になってしまうと考えるが、全体的に勘案してお考えを問う。

**答** 課題をすべて洗い出し、協議を重ねながらいいものをつくっていききたい。

**問** 昨年11月チャレンジショップ1号店がオープンしたが、今年2月に閉店。大きな課題を感じているが、インキュベーション施設の現状と今後の対応について問う。

**答** 現在施設は閉まっている状況。課題等に対する早急な対応を行い、施設の利用方法を再検討している。

**問** チャレンジショップの町外PRに対するお考えを問う。

**答** 近隣の市役所、商工会議所、商工会や関係店舗等をお願いをしていく。

# 一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

**問** 利根町として抱えている問題について

**答** 解決する事は大変、努力は惜しまず

**若 泉 昌 寿 議 員**

**問** 今回が最後の一般質問になりますので、現在、町として力を入れて努力していかなければならない事を5項目に絞り、質問しました。1.利根町の農業について、2.少子化対策について、3.高齢者の健康づくりについて、4.空き家対策について、5.利根町の交通問題について、以上の5項目です。町が抱えている問題はその他にもあり、すぐには解決できるとは思いませんが、これらの5項目について、町の考えを伺います。

**答** 農業については高齢化により後継者が少なくなり、農家離れが進むことが見込まれますが、基盤法等の改正法が成立し、人・農地プランが法定化され、担い手や多様な経営体の確保、育成に取り組めます。

少子化対策については、移住定住PR動画を活用したプロモーションを展開し、移住支援金、新築助成金など、移住定住の促

進を図ります。妊娠出産祝い品や18歳以下の医療費助成など、子育て支援に取り組みます。

高齢者の健康づくりは、日常生活が制限されず生活できる健康寿命と平均寿命の差を縮めることが重要とし、各種検診等で幾つかの検診を同日に受けられたり、生活習慣の改善のため、健康教室を開催しています。

空き家対策について、町はPR動画や利根町新築マイホームの助成金など、移住定住の両面から促進を図ります。空き家件数の現状調査を行い、所有者を把握し、管理状況を判断しています。

交通については、現在、福祉バスとふれ愛タクシーを運行しており、令和6年度に利根町地域公共交通計画の策定できるよう検討しています。布佐駅や藤代駅などへの乗り入れについては、住民アンケートの結果を踏まえ、既存の交通事業者との協議が必要となります。

## 議 会 活 動

### 委 員 会 活 動

#### ICT化特別委員会

ICT化特別委員会：山崎 誠一郎 委員長

令和5年2月7日(火)に、ICT化特別委員会の委員7名に加え、議会事務局2名、政策企画課2名同行のもと、高萩市のAIを活用したバスについて視察しました。

高萩市では、「マイカー時代により、公共交通利用者が減少し、それに伴い事業経営が圧迫され、路線や便数も減少し、さらに利用者数が減少する」といった悪循環が生じていたとのことです。

対策として、AIを活用したバス導入の検討を始め、令和3年7月から試験的に運行し、試行錯誤を経て令和4年10月から、その愛称を「マイ・ライドのるる」として本格的に運行を開始しました。

利用者が多い通勤・通学時間帯と夜の時間帯は「通常の路線バス」を運行し、日中の利用者が少ない時間帯を、AIを活用したバス「マイ・ライドのるる」に切り替えて運行することで、利用者の利便性を向上させたとのことです。

この「マイ・ライドのるる」は、利用者が「スマホの専用アプリ」もしくは「電話」で、利用したいときに、好きな場所へ呼び出すことができる新しいバスの愛称です。利用者の予約に応じてAIが多数の乗降場所の中から最適な乗降ルートや時間を計算し、バスが利用者を迎えに行くシステムです。

利用料金は、1乗車あたり、大人300円、小児150円で、高齢者や通学者を対象とした割引制度もあります。我々も「マイ・ライドのるる」に乗車してきました。

そこで利用者に、お話を伺ったところ「買い物や外出の際に利用しているが、とても便利です。」と仰っておりました。

なお、高萩市では、この「マイ・ライドのるる 及び専用アプリ」の利用促進のため、65歳以上の高齢者を対象に、スマートフォン購入費補助金を実施しているようです。

この「マイ・ライドのるる」の導入により、1日当たりの乗客数が増え、生産性が向上し、地域路線バスの持続可能性を高めることにも繋がっているようです。

この視察を通して、公共交通とAIを活用したバスについて調査研究することができました。



## 第11回議会報告会

令和5年2月4日（土）利根町文化センター多目的ホールにおいて、「第11回利根町議会報告会」を開催しました。この議会報告会は、議員活動の状況を町民の皆様へ報告・説明するとともに、意見交換の場として開催したものです。前回から引き続きYouTubeでのライブ配信も行いました。

当日は、全議員が出席し、町民の方は22名のご参加をいただきました。

なお、前回実施したアンケートで質疑応答の時間が短いとのことを受け、今回は意見交換会の時間を前回より増やしました。また、事前質問を募集し、町民の皆様の貴重なご意見をお寄せいただきました。

様々な疑問、質問や忌憚のないご意見、またアンケート結果を踏まえ、今後の議会活動に反映していきたいと考えています。議会報告会がより開かれた場となるよう、改善を図って参ります。ご参加くださいました町民の皆様ありがとうございました。



### ●参加された皆様の主な意見（アンケート）

- ・議会基本条例を意識して運営して欲しい。
- ・「意見交換」の時間を増やしたことは評価できる。
- ・利根町みんなのまち基本条例を契機に、協働のまちづくりに尽力してほしい。
- ・町民と話し合いや、意見や思いを行政に届けて改革していくことが少ない。
- ・若い世代の政治への関心が低いので、高めるための工夫が必要。

## 令和4年度 町村議会議員自治研究会

### ○参加議員：新井、船川、若泉、五十嵐、花嶋、石山、石井、山崎

令和5年2月2日（木）、水戸京成ホテル2階「瑠璃の間」において、県内町村議会議員の参加のもと、令和4年度町村議会議員自治研究会が開催され、議員8名が参加しました。

市町村の行財政をめぐる重要課題や議会を取り巻く課題と対応の方向、社会構造の変化を見据え政治・経済の動向について示唆をいただきました。

政府は「異次元の少子化対策」について危機感を持って取り組んでおり、所得税の「N分のN乗方式」の検討を含め、3月下旬には方向性が示されるだろうとのことでした。また、子育て支援については、令和元年に合計特殊出生率2.95を記録した岡山県奈義町の事例を紹介されました。奈義町は住民投票で単独町政を選んだ経緯があり、一貫した歳出削減と施策の見直しを行い、20年かけて子育て支援施策を拡充してきたとのことでした。

### ▽研究

<内容> 「今後の政局・政治展望」

<講師> 政治ジャーナリスト

田崎 史郎 氏



# 利根町議会日誌（令和5年1・2・3月）

活動内容	
1 月	
8	令和4年度利根町はたちのつどい式典
16	令和5年度利根町精工組合通常総会・太子講
17	令和4年度県南町村負担金審議委員会
18	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
19	広報編集委員会
〃	ICT化特別委員会
24	令和5年第1回定例会（町村長・議長合同会議）
27	令和5年第1回龍ヶ崎地方衛生組合議会臨時会
28	板橋地区環境整備委員会・懇談会
30	全員協議会
2 月	
1	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
2	令和4年度町村議会議員自治研究会
3	令和5年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会議会運営委員会／全員協議会
4	第11回利根町議会報告会
7	ICT化特別委員会
8	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
〃	利根川サイクリングロード推進協議会設立総会
9	令和4年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会総会
10	令和5年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会／全員協議会

活動内容	
2 月	
14	航空騒音等要望に対する回答に係る意見交換会
15	議会運営委員会
〃	<b>令和5年第1回臨時議会</b>
16	令和5年第1回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
17	令和5年第1回茨城県南水道企業団議会定例会
19	第36回利根町駅伝大会
20	全員協議会
〃	令和5年第1回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会／全員協議会
〃	令和5年度予算内示会
21	町村自治功労者表彰式
22	議会運営委員会
24	令和5年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
3 月	
1	町内小学校閉校記念式典
2	<b>令和5年第1回議会定例会（～20日）</b>
13	利根中学校卒業式
16	議会運営委員会
17	町内小学校卒業式
〃	令和5年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会全員協議会

## お知らせ

### 町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。

第1回臨時会（2/15）の傍聴者数は、1名

第1回定例会の傍聴者数は、延べ14名でした。

※本会議の様子をYouTubeで配信しています。

こちらから⇒

利根町公式ホームページからアクセスできますので、是非チャンネル登録をしてご覧ください。これまでライブ配信したものもご覧いただけます。

○次回の定例会は、令和5年6月2日（金）から開催する予定です。



### 町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

こちらから⇒

利根町議会会議録は、図書館と役場1階情報公開コーナーにあります。

